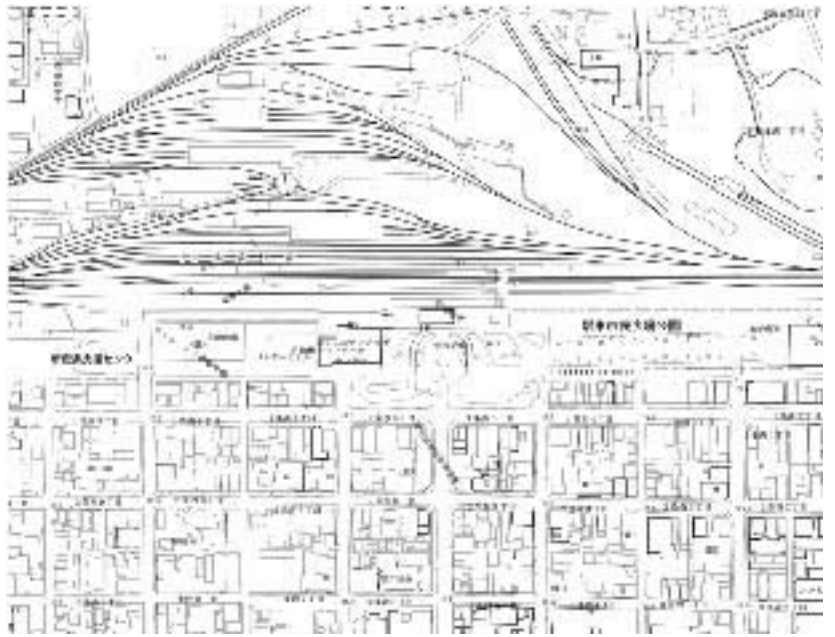


岩見沢駅は明治15年、手宮(小樽)・幌内(三笠)間の鉄道開通に伴って設置されました。以来、1933年に建て替えられた3代目の駅舎は、2000年12月の火事による焼失まで約70年のあいだ、陸上交通の拠点として、また牛舎を思い起こさせるデザインがまちのシンボルとして長い間市民に親しまれてきました。現在は、プレハブの仮駅舎で営業しており、市民からはまちの新しいランドマークとなる新駅舎の建設が望まれているところです。



## 1、まちづくりの顔となる、変わらない価値を持つ駅舎への提案

日常的に使われる通過点でありながら、旅人を迎える玄関でもあり、ふるさとを旅立つ玄関でもあり、特別な思い出の場所でもある。旅人は街と出会い、歴史と出会い、人と人が出会い、自然と出会い、あるいはふるさとと別れ、家族と別れ、駅では様々な思いや、出会いが錯綜する。電車を待つ間に本を読む人、家族と別れを惜しむ人、新しく街にやってきた人。見渡せば、人々は四隅やくぼんだところ、出っ張ったところのあちこちにうまく収まっている。一つ一つのドラマと空間がそれぞれ独立しているようでいて、うまく解け合っている。小さくても記憶がいっぱい詰まっている駅。それが本当に愛される駅ではないだろうか。岩見沢の駅舎にもそうあって欲しい。そんな駅こそ永遠の価値なのだと思う。



小さな空間がいっぱい詰まった集合体であるべきである。この駅は「モ・ニサ(mo nisa アイヌ語で『小さな空洞』の意味)の集まり」でできている。モ・ニサはドラマの舞台であり、記憶の箱庭である。モ・ニサやオープンスペースがちりばめられた駅舎は人生のアルバムである。



記憶される駅

## 2、地域文化を担い、地域交流の拠点となる駅舎への提案

良く見かける云々センターは、何か「人」という主役を忘れている。無理矢理のメニューは新鮮みに欠け、必要のない建物だけが浮遊している。縦割りの機能がさらにつまらなさに拍車をかけている。



たくさんの人々ができるだけ長い時間とどまってもらうことを考えた。人々ができるだけ留まれるように、出会うように、そして活気づく。これが文化の出発点なのである。



留まる駅、出会う駅、コミュニケーションの培養器

## 3、建設費用や維持管理費の低減のための提案

大都市に見られるような、巨大でガラス張りで、人を飲み込むだけのメガストラクチャーな華々しい駅舎はここではいらない。



単位はできるだけ小さく、人間くさく、細い柱の構造システムがよいのではないか。材料は道内のものでまかなう。道産木材やレンガ、石や木、そんなどこでも採れるものでよい。北海道の情景をつくるなじみのある材料により風土の記憶をつくっていく。



ローコストで管理しやすい駅

## 4、駅と周辺施設、特に駅前広場との調和を考慮した提案

駅前広場が現在積極的に使われていない。それは余った広場だからである。どこにでも見られるようなロータリー広場となんら変わりがないのが現実である。



将来的にこの広場に商業的なゾーンをもってきてもよいが、この広場を「外」とみなすならば、駅は「内」である。モ・ニサは「内」に「外」を導入し、中間領域をつくり出し、多面的に広場に働きかける。そうすることによって、駅舎にとどまらず広場も一体化し、駅舎の四季を演出する。



広場との合体

## 5、中心市街地と駅舎との積極的な関係の提案

現在は駅前であっても商店街は閑散としており活気を失いつつある商店街に変貌しつつある。



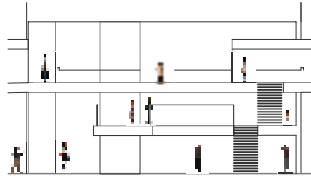
駅を利用する楽しさ、親しみのある駅は人々に愛され、人が集まりはじめる。最終的には商店街等の見直しは必要とは思われるが、とにかく駅利用客を増やす。それが街づくりにもなり、活気づく岩見沢の発展となる。



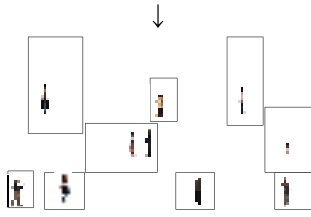
街を元気にする。



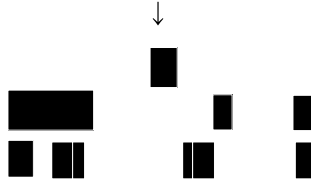
内部空間での人の行為、  
人の固まり



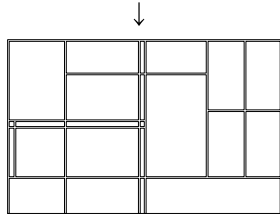
空間を小さく囲む



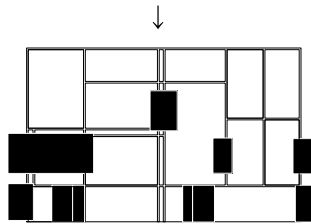
小さな単位の間  
MO・NISA (記憶の箱庭)



空間の単位が外部に転映する



MO・NISAの集積体で  
大小の空間が出来上がる



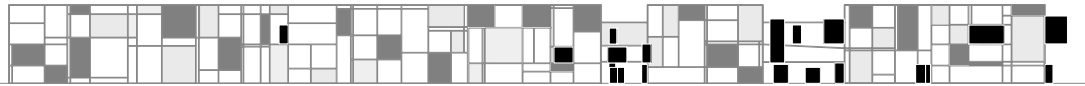
## 「記憶の箱庭」

モ・ニサとはアイヌ語でMO(小さな)NISA(空洞)という。チセ(家)が集まりコタン(集落)を形成したように、駅も小さな単位の集合体でありたい。昔の駅にはやすらぐ小さな空間がいっぱいあった。思い出もドラマもいっぱいあった。NISAは人を包み込み、記憶とともに残像する。

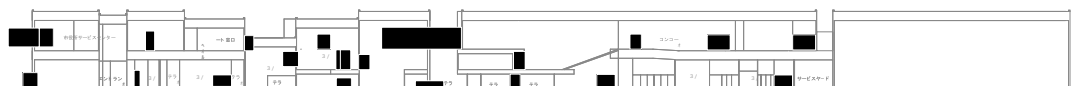
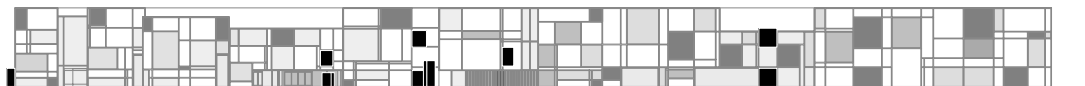


## 立面図 断面図

北側

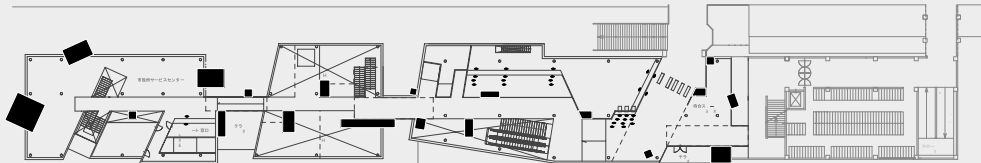


南側

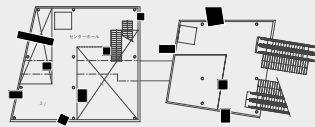




2階平面図



中2階平面図



配置図、1階平面図

